

おまかせください!  
新築のような家の塗り替えが出来る

笑顔になる

外壁塗装屋さん選び方



## ■ 目次

■ ご挨拶 外壁塗装は、さっぱり分からない・・・	4
なぜこの冊子をあなたにお届けしたいと思ったのか	4
ところが・・・	5
ちょっと面倒ですよね・・・ですが・・・	7
■ 第一部 そもそも外壁塗装ってなんですか？	9
そもそも壁の塗り替えはなぜしないといけないのですか？	9
外壁塗装が家を守る？	9
ところが、塗装にも耐用年数がある	10
「家の美観の保護」もあります。	10
どれくらいになったら塗り替える？	11
このような症状が現れたら塗装の目安になります	12
① 外壁にヒビが入る(クラック)	13
② 色あせが起きる(退色)	13
③ かび、コケが生える	14
④ 外壁の塗料のめくれ、はがれが起きる	15
⑤ チョーキング(塗料の粉化)が起きる	16
⑥ 外壁がサイディングの場合の裂け、ヒビ	17
■ 第二部 安心の業者を見つける3つの秘訣	19
安心の3つの秘訣とは？	19
その1 自社の施工物件を見せてくれる	19
その2 安さを謳わない	21
その3 決断を急かさない	23
外壁塗装工事の流れや期間を教えてください	24
お申し込みから工事終了までの流れ	25
さらに当店では、アフターフォローも手掛けています。	27
実際にアフターフォローさせていただいた様子	29

■ 第三部 塗り替え前によくあるお悩み.....	31
Q、どの季節に塗り替えがおすすめですか？ .....	31
1月～2月 .....	31
3月、4月、5月 .....	31
6月、7月、8月 .....	32
9月、10月 .....	32
11月、12月.....	32
Q、工事期間中に、不便なことはありますか？ .....	33
○お洗濯ものは外には干せない .....	33
○窓が開けられない時がある。 .....	33
ここでひとつお得な情報を！.....	34
○エアコンは使える！ .....	35
○においはありますか？ .....	35
Q、雨の日の工事はどうなりますか？ .....	36
■ 終わりに... 外壁塗装にかける想い .....	38

## ■ご挨拶 外壁塗装は、さっぱり分からない・・・

この小冊子をお手に取っていただきまして、ありがとうございます。  
初めまして!府中市紅葉丘の”地域密着の塗装店”三商事の上神谷 裕治と言います。

ぼくの名前、難しいですよ?大概の方は読めませんから・・・でも、インパクトがあってかえって良いとは思っていますけれど・・・。

こう書いて(かみかべや ゆうじ)と読みます。「かみかみや」と読みそうですが、「べ」なんです・・・難しいですよ?ちなみにひよんなご縁というか・・・珍しい名前同士は引き合う・・・というか・・・で知り合ったのですが「かみかみや」さんも実在します・・・同じ字を書きます。

名前のお話でだいぶ来てしまいましたね・・・それはそれとして・・・

### なぜこの冊子をあなたにお届けしたいと思ったのか

三商事は、昭和54年創業で、今まで800件以上のお住まいの塗り替えを手掛けさせていただいております。

手掛けさせていただく、たくさんのお客さまとお話する中で、

お客さまから

**「どこに頼んでいいかさっぱりわからなかった」**

というお声をいただくことが本当に多かった・・・

普通、何か商品を購入する場合って、いろいろな情報を得てから、購入に至ると思います。

何度も購入しているものもあるでしょうから、どんな情報が必要で、どんなことに注意が必要で・・・とかが、わかりやすいはずです。

## ところが・・・

外壁塗装をはじめとする、塗装工事というものは、そうそう何度も購入するものではないはずで

だからこそ、どんな情報が必要で、どんなことを注意したらいいのか、分かりづらい。

そして、他の商品とは違い、手にとってみたりすることもできません。

**さらに「オーダーメイドの商品」です。**

お住まいの大きさはもちろん、下地の現在の具合、傷みの度合い、など様々な条件で、工事の仕方が違ってきます。

それと「それをつくる(工事をする)人間の置かれている状況」「考え方」などでも左右されてきます。

手間をかけて差し上げられるか、そうでないか・・・とか。

皆さんが「選ぶ業者」によって、またお住まいの状態によって、そのお住まいに合った工事の仕方というものが変わってくるのが塗装工事です。

同じ材料を使い、同じ工程で、同じ人が作る、性能のまったく同じである商品、いわゆる一般の商品ですが、こういったものとは違う商品ですよ。

それと「買ったけどちょっと失敗・・・じゃあ、また違うのを買えばいいか・・・」  
というような価格ではありません。

塗装工事は高い買い物です。

買い換えれば良いというものではありませんし、できません。

だからこそ皆さん慎重になるわけです。

- 何度も購入経験を積めるものではないので、知らないことが多い。
- 手にとってみたりすることができない
- その家にあった塗装工事をしないとイケない。いわゆる「オーダーメイド」の商品
- 作り手（工事をする人間）によって、その品質が変わってしまう可能性が大きい。
- 高額商品なので、失敗したからといって、買い直すことはできない。

まとめると、このような感じでしょうか。

これだけの要因があるものですので、購入するにはとても迷われると思います。

ですが、

「だからといって、しなければいいというわけでもなくて、むしろ、しないとお住まいは確実に傷んでしまう」

のです。

躊躇ばかりもしてられません。年数が経てば、新築のころのきれいさ、耐久性は落ちます。

大事なお住まいは、お住まいになられている方自身で、守らなければいけないのですから。

だからこそ、私は「塗装工事に対しての情報提供は、これから購入される方にとっては、絶対に必要」だと強く思うのです。

そして、情報はできるだけ集めてから臨んだ方が、絶対に後悔しない塗装工事ができるはずです。

## ちょっと面倒ですよね・・・ですが・・・

こんなことをいうと「面倒」に感じてしまわれる方もいらっしゃるかもしれませんね。

しかし、こういったことをおろそかにしてしまうと、ある「一点」でのことですか、塗装工事が見られなくなってしまうます。

それは「価格」です。

価格の高い、安いでしか判断ができなくなってしまいます。

価格の高低は購入される側にとって見れば、本当に本当に重要なこと。でも「安ければいい」というのも、この塗装工事についていえば、危険な部分もあります。

先ほど「オーダーメイドの商品」と書きましたが、塗装工事というのは「工事をする人間の手間」が価格に大きく反映されてきます。

手間をかけるというのは「こまかい仕事を、時間を掛けてやる」ということも含まれますが、それだけではなく、「当たり前に必要なとする工程」も含まれています。

塗装工事はそのほとんどが「手作業」「手間の仕事」なわけですから。最低限に必要な手間さえ（つまり基準の工程さえ）掛けたくても、かけられない・・・

そんな状況の中、仕事をしている塗装業者はたくさんいます。

そういった業者は「安くあがるように」と工事をします。そうでないと自分の利益が出ませんからね。

**だから、逆にいえば「安くやろうと思ったら、安くできてしまう」のです。**

手作業ですから、いわば、その場で商品を作っているわけですから、そのさじ加減でどうにでもなります。とにかく仕事を収めることを最優先に…  
そのあとはどうなっても知らない…という態度で工事をしていけば、安くあげることはできますし、自分の利益もそれだけ出ます。

このように、非常に判断の難しい塗装工事です。  
ですがお住まいを維持していく、きれいに住み続けるのには、塗装工事は一番の特効薬です。

**情報をすこしずつでも得ながら、工事を考えていけば、外壁塗装は、「怖いもの」でも、「ややこしいもの」でもなくなるのです。**

**必ず「そのお住まいの為に役に立つもの」なのです。**

だからこそ、情報提供をして、皆さんの不安や不満、を少しでも取り除いた上で、いろいろとご判断をしてもらいたいのです。  
安心して塗装工事をしてもらいたい。

後悔はしてほしくないんです。

そして終わった後は、やってよかった…！  
笑顔でそういつていただきたい、そんな思いから、この冊子を作りました。

この冊子で、あなたの塗り替えの不安が少しでも解消しましたら、とても嬉しいです。



## ■第一部 そもそも外壁塗装ってなんですか？

### そもそも壁の塗り替えはなぜしないといけないのですか？

外壁塗装というと、家の美観を保つためにするのではないか？と思われがちです。

確かにその一面もありますが、外壁塗装をする最も大きな理由としては

#### 「家を保護するため」

というところにあります。

### 外壁塗装が家を守る？

例えば、枯れて倒れている木をイメージすると分かりやすいかと思います。その木は、雨風にさらされていくと、だんだん水がしみ込んでいって、腐っていきますよね。

大きな穴が開いたり、アリの巣になったりとかですね。

こういうことが、家の壁にも起こります。

いまは木を使っている家はあまりありませんが、**どのような部材の壁であっても、そのままですと、太陽光線、雨風などで痛んでいきます。**

#### そこで、壁を守るのが、塗装の役目です。

ワックスを床に塗ったりすることもあると思いますが、そのようなイメージで、壁にも塗装を施すことで、壁を水の浸水や痛みから守っています。

## ところが、塗装にも耐用年数がある

家を建てた際には、この塗装は必ず行われているのですが、「持ち」は永久ではないです。

塗装は「自分の身を削りながら」その任務を遂行していきます。ですので時間が経てばやがて、塗料もその役目を終えてしまうときは来るわけです。

そうすると、今度は壁の部材そのものの劣化が始まってしまいます。ですので、部材そのものの劣化が始まる前に、さらに塗装を施してあげて新たな命を吹きこんであげる。

そうすれば「お家の生命」がさらに延びていくのです。

こんなふうにおうちを守るのが、塗装の役目のひとつです。

## 「家の美観の保護」もあります。

こちらの理由は、イメージしやすい方ですね。塗装というのは「傷みを防ぐ」作用のほかに「汚れにくくしてくれる」作用ももっています。

しかし先ほどと同じく、時とともに、その作用も減退していきます。

どのようなものでも「きれいになる」ということは気持ちのいいものであると思います。ましてご苦労されて手に入れたお家です。なおのこときれいになれば、喜びもひとしおだと思います。

「きれいになって、ホッとした」  
「遠くからきれいになっている我が家を見てると、とても気持ちいい」  
「せっかくきれいになったのだから・・・と傷をつけないように注意している  
自分があります……。まるで『新車』を扱っているようです……」

多くのお客様に出会い、そんなお声を聞いていますと、あらためてその方のお家に対する思いが伺えます。

そして、そんなお声が私の原動力になっているんだなあ・・・と改めて感じるのです。

お家にとって、あるいはそこにお住まいになられている方々にとって「お家の塗装」というものは、なくてはならないものだということを思い、日々仕事をしています。

## どれくらいになったら塗り替える？

それでは、どれくらいになったら塗り替えが必要になるのでしょうか？  
というお話をお伝えしていきます。

外壁の塗装の時期は、現在壁に塗られている塗料にも寄りますが、初めての塗り替えを迎える方でしたら、

### 築10年から15年くらいたったら

塗装の時期ということになります。

新築の際に外壁に塗られている塗料の効果の持続がこの年数位のグレード(樹脂)の塗料が多いからです。

もっと効果の持続が短い塗料を外壁に塗装されている場合もあります。ですから、一概には言えませんが、おおむね、この年数で見ていただければ・・・と思います。

## このような症状が現れたら塗装の目安になります

10年経過とともに、あるいはその前から、外壁には様々な症状が現れます。その症状が見られたら外壁塗装を行う目安となります。

どのような症状かというと・・・

- ① 外壁にヒビが入る
- ② 色あせが起きる
- ③ かび、コケが生える
- ④ 外壁の塗料のめくれ、はがれが起きる
- ⑤ チョーキング(塗料の粉化)が起きる
- ⑥ 外壁がサイディングの場合、目地の部分(コーキング)が劣化し、裂けたり、ヒビが入ったりしている

このような現象が塗り替えの目安のサインです。

ひとつひとつ詳しくお伝えしていきます。

## ①外壁にヒビが入る(クラック)



ヒビの原因は「モルタルのやせ」か「地震などの外的要因」です。一概にそのヒビをみて何が原因かを特定するのは難しいですが、そこにヒビがあるかぎり、水がまわってしまうことには変わりありません。

早急に処置をしないとそこから水がまわり・・・放置しておけば手遅れになります。

## ②色あせが起きる(退色)



外壁の塗料が劣化してくるに従って、発生してくる症状です。大抵、日当たりの良い場所で起こることが多いです。

### ③ かび、コケが生える



風通しの良くない面(北側)、乾きづらい面、場所などに生えます。付着した汚れが落ち切らずに外壁に残り、そこから発生します。

本来、外壁塗装は外壁を防水するために施してあるものですが、この状態ですと、逆に湿気を取り込んでしまい乾きません。

そして、さらにカビやこけが広がっていきます。

そのうちに外壁塗料が、その湿気のために外壁から分離、つまり、はがれてしまうという事態になります。

#### ④ 外壁の塗料のめくれ、はがれが起きる



考えられる要因としては、カビやコケなどの湿気・・・(とかく塗料は湿気に弱いんです・・・)や、前回の塗装時の下処理の悪さです。

この外壁は前回の塗装時の下処理が悪く、一番左の写真のようにつまんでをはがせてしまいました。

安かろう悪かろうの業者に依頼してした場合、塗装の「持ち」が短くなってしまいますので、耐用年数が来る前に不具合が起こることもしばしばです。

そうなってくると、工事費が高くなることもあります。

## ⑤ チョーキング(塗料の粉化)が起きる



塗料の色に必要な不可欠な「顔料」。その顔料が塗料の樹脂とともに経年劣化により表面に浮き出てくる物です。

このように手でカベをなでたり、指でこすってみるとこのように手についてきます。

これも外壁を守る塗料の防水効果がなくなったという目安になります。

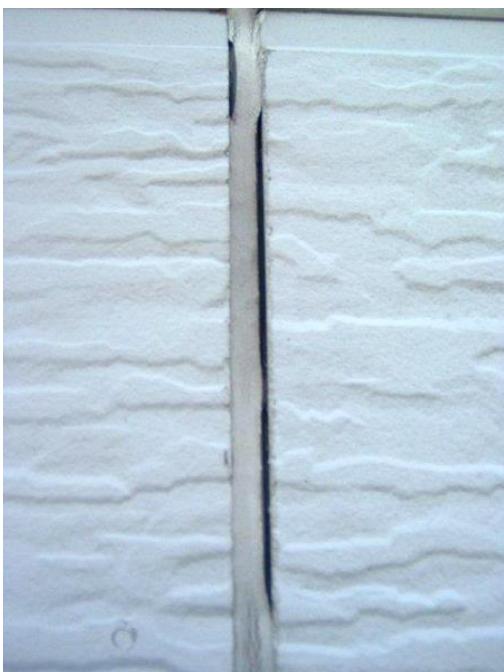


## ⑥ 外壁がサイディングの場合の裂け、ヒビ

目地の部分(コーキング)が劣化し、裂けたり、ヒビがはいっている場合です。



サイディング壁にはサイディング同士をつなぐのに、このように溝があり、



ここにシーリング(コーキング)と呼ばれる、溝を埋めるやわらかい継ぎ目が入っています。

サイディングはモルタルの外壁と違い、板そのものにヒビが入ることはあまりありません。それはサイディング板にこのやわらかい継ぎ目(目地)があるので、ここが微細な外壁への動きを吸収してくれるからです。

ところがこのシーリングは、塗装などはしておらず「むき出し」のままです。保護されていない事が多いので、暑さ寒さなどをもろに受けます。夏の暑さや冬の寒さ・・・雨風などをうけますので、経年劣化でやがて傷んでいきます。

柔らかかったシーリングは固くなります。そこへきて、サイディング板そのものも夏の暑さや冬の寒さなどから伸縮します。やわらかいままなら、そのサイディング板の伸縮にシーリングもついて行ってくれますが、固くなってしまうので、サイディングの伸縮性について行けず、裂けてしまいます。

この裂けてしまった溝から、雨が侵入してしまうのです。サイディングのシーリング部分の劣化は外壁塗装の重要な目安になります。

なお、このシーリングを新しく充填する(打ち直しと言います)ことだけをされる方も、まれに拝見します。

ですが、充填と外壁塗装を別々にやりますと、足場からしてその都度のことになりますから”2回分”かかるというわけです。**ですから、コストの事を考えると一緒にされた方がいいというわけです。**

このように「外壁塗装の目安」ということでご紹介してきました。

**築10年以上、もしくは前回塗り替えてから10から15年経過しているのなら、お住まいをもう一度、チェックしてみてください。**

## ■第二部 安心の業者を見つける3つの秘訣

外壁塗装をするときに一番悩まれるのが「業者の選び方」ではないでしょうか？

やはり、しっかり施工してくれる業者にお願いできたほうがいいですね。

そこで、プロの視点から、業者を探す時この点だけ気をつければ、安心して外壁塗装が出来るという秘訣をお伝えします。

### 安心の3つの秘訣とは？

その1 自社の施工物件を見せてくれる

その2 安さを謳わない

その3 決断を急かさない

です。

順を追ってご説明したいと思います。

### その1 自社の施工物件を見せてくれる

お見積もりをとって、説明も受けた・・・でも、まだひとつ決める勇気が出ない・・・。

そんな方も多いと思います。

そういうときは「実際に外壁塗装をしたお宅を見せて欲しい」と頼んでみましょう。

もしくは

「今、手がけている現場をみせてほしい」でもいいでしょう。

できればあなたのお宅の近くで、そういうお家があればベストですね。

外壁塗装をしたお宅を見せられるということは、やはりその業者がお客様に対して喜んでいただいたという「自信」があるからです。

そして見せてあげてもいいというお客様からの信頼の証拠でもあります。だから当然、仕上がりも自信があります。

そして、そういうお宅があなたの家の近くにたくさんあれば、「こんなにウチの近くで外壁塗装、手がけているんだ…」という安心感につながるはずです。

「今、手がけている外壁塗装の現場をしてみる」ということは、「あなたの家だけで考えている外壁塗装という難問」をクリアーして実際に始めているお宅がある…ということ意識できます。

「自分だけじゃない…今の自分みたいに悩んで、その上で結論をだして、こうやってこの業者さんに頼んでいるんだ…」

ということがわかると気持ちも軽くなるはずですよ。

そして、実際の塗り替え工事の状況をリアルで見られるわけですから、「こういうふうに進んでいくんだ…」ということもわかり、安心感が生まれます。

「これは何をしているところですか？」など、どんどん質問して行ってかまわないと思います。

それに対して迅速に、丁寧に、わかりやすく説明していただけるということは、その営業マンも現場に精通しているということもわかってさらに安心のはずです。

## その2 安さを謳わない

外壁塗装など、お住まいの塗り替えは「手間の仕事」です。

電化製品のように「どこに行っても同じ品質のものが買える」という買い物の仕方とはかなり違う「お買い物」です。

外壁塗装は手間の仕事ですから

**基本的に「安かろうは悪かろう」です。**

安く出来るということはどこかで手間を差し引いているということです。  
それが後々のお住まいの塗装に影響してくる可能性も考えられます。

例えば外壁に塗る下塗りを省けば、時間短縮になりますが後々の密着が悪くなり、はがれてしまう・・・という問題があります。

また、塗っているとしても、その水性の材料に適量以上の水を入れれば、その分材料の使用量を少なくすることが出来てしまいます。さらにそうやって作った材料は水分が多いのでとても塗りやすいので、早く終わらせることもできてしまいます。

それによって、人件費、材料費を浮かせて工事費を安くするという方法です。

ですが、適量以上の水分をいれていますので、塗料の本来の効果を発揮できない事でしょう。

本当はもっと粘度のある塗料をしっかりと塗らなければいけないのに。

**粘度のある塗料をしっかりと塗るのに時間がかかります。**

「安くする」ということはこういうことなのです。

また「足場がウチは無料なんです」という業者さんもいます。

ですが、足場が無料というのはありません。

足場を組み立てるにも、人件費がかかります。**それが丸々なくなるということとは足場業者に利益がないことになります。**

自社で組むにしても、やはり人手がかかるのは同じですので、サービスで無料というのは「表現上だけのこと」です。

足場費用として見積もりに記載されてないだけで、どこか別の項目に振り分けられていると考えたほうがいいでしょう。

「安く見える工夫」をしているだけなのです。

そして、こうして「さまざまな工夫をして安く」して仕事をお受けして、それを下請けの業者が施工する場合は、さらに「安く仕事をする」ということになります。

元請けの業者も自分の会社の利益を得ないといけないからです。

安く請け負った仕事をさらに安く仕事をしなければならないので、あまり安く安く・・・という業者でも「お得だ!」と飛びつくのは待ってください。

### その3 決断を急かさない

当店のような「地元でやっている塗装店」は別ですが、大方の外壁塗装の営業マンには「ノルマ」があります。目標金額があって、締め切りがあって・・・だから、焦るのです。

なんとしてでもご契約をとらないと・・・という気持ちがありますので、「今、ご契約していただければ〇〇〇円値引きします!」「キャンペーン期間が今日までなんです!」などと言ってくる場合があります。

中にはこの値引きの金額が100万単位の事例も知っています。こうなると最初の見積もりのご提示金額はなんだったの?と言いたくなりますよね。

そして極めつけは「ご契約していただくまで帰りません!」のセリフです。当店の見積もりも取っていただいていた方が、こういう風に言われてご契約せざるを得なかったとのことでした。

ばくも当店 三商事の営業マンです。営業マンをしていて感じるのは「**急かしてご契約をさせてはいけない**」ということです。

一度こんな事がありました。ある外壁塗装の業者でご契約をされた方が、そこをクーリングオフして当店にご契約をしてくださいました。

理由を聞くと急かされてのご契約だったそうです。

営業マンが急かす理由は主に2つあります。

一つは自分のノルマのためであり、

もう一つはこの後の仕事が無くなるからという理由です。

いずれにしろ、お客様には関係のないことです。ぼくもご決断をお願いするときはあります。ですが、その場で今すぐに…!とはいいません。ある程度のお時間はお待ちします。

**あまり今すぐにとというのは好きではありません。自分がされたら嫌だからです。**

昔は、ぼくは違う営業の仕事をしていました。そのときの経験がそうさせています。

急かしてご契約をしていただくと、後で問題になったり、言った言わないがあったり、最悪キャンセルをされてしまったり…ということが少なくありません。**ですからきちんとご説明をして納得をしていただいた上でご契約としていきます。**

ですから、安心して外壁塗装に臨むには「決断を急かすような業者は??」とご自分に待った!を掛けた方がよろしいと思います。

## 外壁塗装工事の流れや期間を教えてください

この業者がいいな、と思うところが見つかった…そうってから、どのような順番や期間で工事が行われていくのか、気になりますよね。

ここではそんなお悩みにお答えしていきます。



## お申し込みから工事終了までの流れ

以下は当店での流れとなりますので業者によって多少前後したりなどはあるかと思いますが、イメージとしてお役に立ちましたら嬉しいです。

### 1. 現場調査

実地での測量や、傷みの状態をみたり、写真に収めたりしながら現場調査（現調）をさせていただきます。

このときにお客様の気になることや心配なことをヒアリングいたします。所用時間は1時間ほどになります。

### 2. お見積り作成

1の現場調査に基づきお見積もりを作成します。

外壁や屋根、付帯部の材質や状態などをみながら適応した塗料、施工方法を選択していくことでお値段が決まってきます。

完成まで1週間ほどお時間をいただきます。

他の業者との「相見積もりの都合で」お急ぎの場合は、その旨を教えてください。

### 3. 工事内容のご説明

お見積もりをお渡ししながら内容のご説明を致します。

ご予算との照らし合わせをしやすいように、外壁に塗装する塗料の違いで3パターンほどお持ちします。

お客様からの質疑応答をお伺いして、ご納得いただければご契約書の記入となります。

このときに工事開始がいつ頃になるか・・・はおおまかにお伝え致します。  
(ご用意いただく物は三文判でかまいませんので、ご印鑑をお願いします。)

#### 4. 足場の現場調査

塗装工事開始までのあいだに、時期をみて足場業者の現調がございます。

#### 5. 工事日程のお知らせ、近隣の方へのご挨拶

足場組みの日(工事開始日)が決まりましたら、お知らせをいたします。

事前に御近隣へのごあいさつを致します。

もし、ご挨拶に同行をご希望していただけるのでしたら、お申し出ください。  
調整いたします。

#### 6. 塗装工事① 足場を組む&飛散防止シート設置と高圧洗浄

まずは足場を組み立てに参ります。

足場組みの次の日、もしくはその後に高圧洗浄を開始します。

高圧洗浄時には、水が飛び散ったりするのではないかと不安もあるかと思うのですが、飛散防止シートを設置させていただいたり、お隣の家が接近している場合は、ブルーシートで二重張りにしたりなども行います。

また、当店では高圧洗浄前日までに、御近隣への周知も徹底をしていきます。

#### 7. 塗装工事② 養生作業

洗浄終了後、養生作業に入っていきます。ペンキが塗る必要のない部分につかないようビニールシート等で覆っていきます。

ここからおおよそ 10 日~2 週間の工事となります。尚、工事の期間はお住いの規模や、塗装箇所の多さや、状態の善し悪しで変わってきます。

作業に従事する職人は1人から2人です。ここも規模によって変わってきます。

### 8. 塗装工事③ 壁の塗り替え

外壁塗装は通常「3回」塗装をします。

下塗り(1回目)中塗り(2回目)そして上塗り(3回目)で仕上げとなります。

また、壁の種類やどれくらい劣化しているのか?によってもこの塗り替えの細かい工程は変わってきます。

### 9. 養生の取り外し、足場の解体工事作業

塗装終了後、すみやかに足場の解体をして工事は終了します。

### 10. 工事終了のご挨拶に伺ったのち、請求書を発行します。

以上で終わりとなります。

## さらに当店では、アフターフォローも手掛けています。

ここからは当店ならではのですが、当店はアフターフォローも行っております。塗装工事は、職人の技術と経験をこめてお客様にご提供するもの…ですが100%不具合はないとは言い切れません。

ですが、当店では、もし発生したとしてもそのときはぜひ、言ってください!とお客様に申し上げております。

その時にはお客様のお宅に行ってみずはその症状を確認します。

「上神谷さん、ちょっと見ていただけますか?」という形で言われて行くときもありますが、営業でまわっているときに、お客様の家を見て、あるいはお声をかけてお聞きしたりします。

細かいことだとお客様は言い出しにくい・・・ということもありますよね。  
わざわざ来ていただくのは・・・と遠慮される方もいます。ですからお伺いして  
こちらから「大丈夫ですか？」と聞いたりもするのです。

**それとアフターフォローに一役買っているのが「ニュースレター おまかせく  
ださい」という「塗り替えについての情報誌」です。**

これをいままで当店で施工したお客様へもお送りしています。  
これをお送りすることによってお客様は「いつも見ていてくれるようで、  
嬉しいです」といってくださる方も多いのです。

何百人という塗り替えがお済みになったお客様・・・その方にお一人お一人  
お伺いすることにも限界があります。

ですからニュースレターをお送りし「どうぞ、お気軽にお声をかけてくださ  
い」というメッセージを送っています。

**何かあったら小さな「？」に対してでも良いから呼んでいただきたいので  
す。**

これをお送りしていることで、お客様たちも遠慮が少し軽くなるからか「見  
に来ていただけませんか？」ということをいつてきてくださる方もいます。

**私は町で、笑顔でお客様にお会いしたい・・・だからこそ、アフターフォローも  
全力でやりたいのです。**

もちろん、これは以前からもしていたことでしたが、以前は「私も含めた全  
員が現場に出てしまっていて」全員を忙しくさせてしまったため、必ずしも、  
そのようなお声に「すみやかに応えることができない」こともございました。

正直に申しますと「忙しいからすぐにはごめんなさい・・・」という感じてし  
た・・・

ですが、これではお客様の不安は時間と共にどんどん増していくばかりです。**まずは何を置いても「一度伺いする」ことが大切と思っています。**

症状の処置などはその後でも間に合うのです。

一度症状を見させていただいて、それから対処の方法を考えてお客様にお伝えする…。

以前はそれがしきれていないところがありました。

そういったことを踏まえて、現体制では「現場の管理専門である」代表の私が窓口になり、ご連絡をいただければさらにスピーディーにうかがえるような体制を敷いています。

そういったフォローに対し、知識も理解もある職人たちに囲まれていますので、そういったこともすぐにしかるべき対応ができます。

## 実際にアフターフォローさせていただいた様子

下記は、他の業者が手がけて3年経過した時点でこのような状態になってしまった…ということでご連絡を頂き、補修をさせていただきました。

塗り変えた色と周りの色は少し違いますが、これは全く同じ色にはできないことはご了承いただいております。



→



補修前（剥がれてきた塗膜を除去後） → 補修後

その他にも

- お客様から屋根が台風ではがれて・・・という件で屋根屋さんをご紹介いたしました
- 塗装では直らないところの部分をつながりの防水業者へお願いして修理いたしました

もちろん、お受けできることとできないことはございますが、当店のお客様はもちろん、当店以外で施工された方でもご相談に乗ってまいりたいと思っております。

## ■ 第三部 塗り替え前によくあるお悩み

### Q、どの季節に塗り替えがおすすめですか？

壁が長持ちする季節はあるのでしょうか？ということで、「季節」として外壁塗装に適した時期というのを考えてみますと、これが一長一短あります。

#### 1月～2月

寒い時期ですが、比較的、締め切りにされても、寒い時期なのでさほど気にもならないということがあります。

それとお天気が続く時期ということもあります。

とある年の当店の場合、1～2月で雨による工事中止は3日 だけでした。

雪が降れば話は別ですが、それがなければかなりお天気が続く時期でなおかつ、空気が乾燥している時期でもありますので、外壁塗装の作業もはかどるというものです。

#### 3月、4月、5月

暖かくなってくる時期ですので、人気がある時期です。3月のお彼岸の時期から4月の初旬くらいは、連続した雨の時期に当たる年もありますが、それを除けば、陽気もいいのでとても良い時期です。

6月の雨の時期の前に外壁塗装を済ませたい・・・という方はこの時期を選ばれる場合が多いですね。

## 6月、7月、8月

梅雨という時期ではありますが、空梅雨という年もあります。  
それと暑い時期にさしかかりますが、お天気が定まれば気温の高さ故、1年のうちで塗料の乾きが一番早い時期です。

早く乾けばそれだけ次の工程に早く進めるというもの。それと日が長いということも手伝い、作業が進めやすい時期でもあります。

## 9月、10月

涼しくなり始め、気候が爽やかになりお住まいの方も、また工事をする側も気持ちのいい時期です。  
短所を強いて上げるなら台風がくるということです。

## 11月、12月

お天気の落ち着いた時期になります。  
2ヶ月で、雨により作業が中止になったのは3日だけなど、スムーズに行きやすいです。

お天気が安定している上に、年末を控えて、新しいお家で新しい年を迎えたい…!という方にはぴったりの時期です。

だからこそ人気がありますね。デメリットは強いて上げるなら「日が短い」。作業量は少し削られる…というところでしょうか？



このように外壁塗装の時期というのは、いつを選択されてもメリット、デメリットはありますね。

でも逆に言えば、いつでも大丈夫!と言っても良いくらいだと思います。

## Q、工事期間中に、不便なことはありますか？

### ○お洗濯ものは外には干せない

これは本当に申し訳ありませんが、外壁塗装の期間はずっと....とっていいほど外には干せません。

強いていうなら、足場が組まれてから洗浄の作業に入るまでの期間、スケジュールの都合で少し空白ができることがあります。

そのときに干していただくことができます。それとその逆の場合も干せます。

ただ、足場を組む当日、解体する当日は干さない方が良いでしょう。設置、解体作業中却って汚されてしまう場合もありますので。

### ○窓が開けられない時がある。

洗浄のときはもちろんですし、そのあとのテープやビニールなどで窓などを包む養生の工程に入ると、窓をあけることができません。

これは窓に塗料が着くことを防ぐためのものです。

ただ外壁塗装の塗装が終われば、言い換えると付帯部分の細かいところを塗るときになれば、養生をはずせる部分は多くなってきますので、窓も徐々に開けていただけるようになります。

## ここでひとつお得な情報を!

それでもリビングのお庭にでる大きな窓(吐き出し)など「ここは空けておいて欲しい」という窓がありましたら、そのことを頼めばビニールで張りっぱなし...ということをし、塗るときだけビニールで覆って、その日の作業が終われば、またはずしてくれます。

そして同じ作業が次の日にあっても、同じようにしてくれる業者もあります。

すべての窓...という対応にはなりません(作業効率のためです)のでご了承くださいね)、1、2箇所くらいでしたらそのようにしてくれる業者も多いです。

**ちなみにこういった細かな対応ができる、できないは、実際に施工する業者が受けた金額によります。**

受けた金額の中で、受けた業者も利益追求します。追求の中でここまではやってられない...ごめんなさい...という対応になることもあるので、ご理解ください。

ただ、色々業者を見てきて言えるのは「やっぱり、お客様に丁寧にしてあげたい」と思っている業者は多いということです。

いずれにしても「ここは1ヶ所でも空けておいていただけると嬉しい」というところがあれば、ご相談された方がいいです。もし、当店でしたらご相談してくださいね。大丈夫です...

## ○エアコンは使える!

エアコンはお使いいただけます!

エアコンの室外機が家の周りにある場合がほとんどですが、多くの場合、この室外機は、塗装しません。

ですので、外壁塗装をする場合は、これらをビニールで覆います。しかし、室外機すべてをスッポリと覆ってしてしまうと、エアコンは使えなくなってしまいます。

ですので、排気や吸気口などまでふさいでしまうのではなく、最低限使用できる状態で覆いますので、どうかご安心ください。

## ○においはありますか?

においは、結論からお伝えしますと、基本的には「ほとんど」臭わないです。「塗料は大きく分けると「溶剤」のものと「水性」のものがあります。

「水性」のものはその名のとおり「水で希釈」をしたもので、水性の塗料の場合は、ほぼ塗料の臭いはしません。(臭いに敏感な方は少しにおうかもしれませんが・・・)

一方で「溶剤」のものは「シンナーで希釈」をする塗料です。少量ならいいのですが、外壁塗装や屋根塗装に使用される塗料は「使う量」が多い塗料ですので、そこで使うとシンナーで希釈をした塗料は確かに臭います。

現在のお住まいですと、多くの場合、溶剤を使うときというのは、付帯部分(外壁、屋根以外の鉄部、木部など)を塗ることが多い塗料です。

使用量としては少ない物ですのでそういった所からも臭いはほぼ残りません。

塗っている最中は臭うときもありますが、何日も何日もそれが残る・・というわけではなく、すぐに無くなってしまいます。ですからご心配は要りません。

ただし、「木」や「金属」の壁の場合は、溶剤がメインの場合が多いです。木ですから水分はいけません。密着が不十分ということにつながります。

昔から木には油を染み込ませたりしながら、防水してきたように、木には「どちらかという油に近い」溶剤系の塗料がお勧めです。

金属の外壁などにも水性の外壁塗料は密着がよくありませんから、溶剤を使わざるをえないときもあります。

ですが基本的には水性が使われることが最近は多いですし、塗料を選ぶ際にも相談できます。

## Q、雨の日の工事はどうなりますか？

外壁に使用する塗料は、今は「水性塗料」が主流です。ですので、塗っているそばから「大量に」降られてしまいますと、「流されて」しまいます。

もし、流されてしまうと大変です。外壁は当然、塗りなおしになります。

それに加え「流されていった塗料」の掃除も大変です。そして、そのあとすぐに晴れても、もう壁面はビショビショ。ですから、その日の作業は中止になってしまうことが多いです。

そういうわけで、「怪しい天気」のときには、空を見ながら、様子を見ながら  
外壁塗装をします。

できるだけ「後で厄介なことにならないように気をつけて」塗装をしている  
というわけです。

以上がよくあるお悩みでした。

そのほかにも、月1度のニュースレターにて、皆様から頂くお悩みなどもお  
伝えしております。

お役に立てましたら嬉しいです。

## ■終わりに… 外壁塗装にかける思い

「本当にどうしたらいいかわからなかったです…。営業の業者はどんどんくるし、みんな言うことが違うし、相場感も何にもわからなくて…」

あるお客様が言ってらっしゃった言葉です。

本当に難しいのです…外壁塗装って。難しいからこそ一番わかりやすい「お値段」が選定の基準になってしまうことも多いです。

でも、お値段で選んで失敗してしまう方もいる…そんなことを聞くと余計にわからなくなってしまうでしょう。

当店はある足場業者さんと提携をしまして、とても穏やかに丁寧に、そして素早く足場を組んでくれる方なのですが、その方が、別の業者のことで

「塗装が終了して足場を解体に行くときに『お客様がとても不機嫌で…』困ってしまうときがあるんです…。」という話をしてくれました。

確かに足場専門業者は塗り替え自体には関与しないところですから、さぞかし気まずい雰囲気の中、足場を解体するのだろう…と思います…。

そのお客様に何があったのか？は知るよしもないのですが…。

それを聞いたときに改めて「一件の塗り替え工事に関わる全ての人が気持ちよく終われる」ということは本当にいいものなんだな…と思いました。

私は「終わったお客様とは街でお会いしたときに笑顔でいたい」と思っています。

ですから、「お客様を中心としたそのまわりに関わる全ての人たちが幸せに終われるように」そんなことを目指して、日々お客様と向き合い、職人たちと向き合い・・・仕事をしています。

**「とにかく『安全に』『みんなが気持ちよく』『やってよかった!』という形で塗り替えを終了させたい!」**

その気持ちでお住まいの塗り替えに取り組んでいます。

最後までこちらの小冊子を読んでいただきありがとうございました。

「住まいには必ず必要なこととわかっているのだけれど、なんだかよくわからないからぜんぜん話が進まない」

「どこに頼んだら良いのかわからない・・・どうしたらいいの?」

とお悩みのあなたに読んでいただきたくてこの小冊子を書きました。いかがでしたでしょうか?

**意外と知られていませんが、業者選び自体が暗礁に乗り上げてしまって、塗り替えを断念してしまわれる方も多いのです。**

せっかく苦労して手に入れられたお住いです。

それでみすみす傷んでしまってはもったいないのです。

ですから「どういう風にお住いの塗り替えをすすめていけばいいのか?」ということをわかりやすく書いてみました。

手に取って読んでいただいただけでもうれしいのですが、さらにこの小冊子が少しでも「あなたの住まいの塗り替え」のお役に立てばなおのこと、嬉しいです。

ぜひお住いの塗り替えを成功させていただきたいと心から思います。

私がお客様からいただく言葉で一番嬉しい言葉は「やってよかった!」です。この小冊子を読んでいただいたあなたに言っていただきたい言葉です。

ここまでお読みいただきまして、本当にありがとうございました。

三商事代表 上神谷裕治(かみかべや ゆうじ)

引き続き、メールもしくは直接にて月1回のお得な塗り替えの情報をお届けしております。そちらもお役に立てましたら嬉しいです。

○メールでのお問い合わせ <https://sanshouzi.net/toiawase/>  
年中受け付けております。

○電話番号 042-365-1402

受付時間 AM8時~PM7時 平日、土日祝日とも一緒です。

お見積りのご希望やお悩みなど、当店でもよろしければ、お気軽にお問い合わせください。





○ホームページ：<https://sanshouzi.net/top-letter/>